

特集



はじめまして



赤ちゃん絵本には、音の響きやリズム、美しい絵、赤ちゃんにやさしく語りかける言葉がちりばめられています。絵本を通して、親子のふれあいは一層豊かなものになります。

心が寄り添うひとときを

赤ちゃんにとって、家族のおひざや腕の中でぬくもりを感じながら、やさしい言葉をかけられることは一番の喜びではないでしょうか。また、その時間は、家族にとっても幸せなひとときでしょう。

そんな幸せな時間を絵本と一緒に過ごしてみませんか。

美しい絵やリズムミカルな言葉との出会いは、親子の世界を広げます。また、一緒に過ごした時間は、赤ちゃんにとっても、家族にとっても大切な宝物となるでしょう。

親子で互いのぬくもりを感じながら絵本を楽しんでください。

「どんな絵本を読んだらいいの？」

絵本選びに迷ったら、ぜひお近くの図書館にお越しください。図書館司書にお気軽に声をかけてくださったら、絵本選びのお手伝いをします。親子で楽しみながら、お気に入りの絵本を見つけてください。

岡八日市図書館

☎ 0748-24-11515

IP 0505-801-1515

または、市内各図書館（問い合わせ先は14ページをご覧ください）

おひぎでだっこの

おはなしかい



赤ちゃんに参加していただけるおはなしかいです。一緒に絵本を読んだり、わらべうた、手あそびなどで楽しい時間を過ごします。お話の途中で、赤ちゃんがハイハイしても大丈夫！お気軽にお越しください。

市内の各図書館で定期的に開催しています。

お父さんやおじいちゃん、おばあちゃんもぜひご参加ください。

※「おひぎでだっこのおはなしかい」の開催日時は、毎月14ページに掲載しています。



▲「くるっとまわして猫の目」わらべうたでふれあい遊び

わが家の絵本タイム

海江田美香さん
帆奏さん
(小脇町)

子どもが10か月のころから図書館で絵本を借りて読んでいます。



2歳となる今では、読んであげると落ち着くのか、お昼と夜寝る前がわが家の絵本タイムです。

おひぎでだっこのおはなしかいには、子どもとふれあう絵本を選んで読んでくださっているのを見て親子で楽しく参加できました。1歳のころよりも反応がありました。子どもの成長も感じています。



「がたんごとん がたんごとん」
安西水丸 / 作 福音館書店

“がたんごとんがたんごとん”と汽車が走って
いくと「のせてくださーい」の声。
くり返しのリズムが楽しい絵本。



おすすめ絵本

赤ちゃんをだっこしながら、
親子で一緒に楽しめる絵本
です。



「りんご」松野正子 / 文 鎌田暢子 / 絵 童心社

あかいりんご、きいろりんご、ピンクのりんご。
くるくるくると皮をむいて芯を取って、いただ
きます！まるごとりんごが楽しめる絵本です。

「おつきさまこんばんは」

林明子 / 作 福音館書店

夜、屋根の上からお月さまが出てきたよ。
「こんばんは」。お月さまとお話しながら読んで
ください。



赤ちゃんにぴったりの
絵本をプレゼント

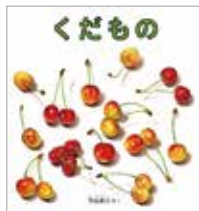
【ブックスタート事業】

保健センターが実施する乳幼児
健診の10か月児健診で、4冊の中
からお好きな絵本を1冊プレゼン
トしています。

問 こども家庭課
☎ 0748-24-5643
IP 0505-801-5643

「くだもの」平山和子 / 作 福音館書店

すいか、ぶどう、いちごにばなな。みんなが
大好きなくだものがいっぱい。
一緒に味わいながら楽しめる絵本です。



— 絵本 —

あれこれ & A

絵本の読み聞かせなどの
お悩みにお答えします。

Q

何度も同じ絵本ばかり読んで
ほしがるのですが、どうしたら
いいですか？

A

お子さんに大好きな絵
本ができたことを喜ん
でください。子どもは大好き
な絵本に何度も出会いたいも
のです。心ゆくまで楽しませ
てあげてください。

Q

絵本は何歳から読んで
あげるといいの？

A

何歳から、という決まり
はありません。0歳からで
も一緒に楽しめます。ページが
開かれ、絵が変わり、お母さん、
お父さんの声が聞こえることを、
赤ちゃんは心地よく楽しんでいま
すよ。

Q

お母さん以外も読んだ
方がいのでしょうか？

A

お父さん、おじいちゃん、
おばあちゃんも、ぜひ読ん
であげてください。いろんな人に
読んでもらって、たくさんの人と心
を通わせることができれば、読み
手にとっても、聞き手にとっても
素晴らしいひとときになりますよ。



Q

子どもが途中であきてしまっ
たり、ページを勝手にめくった
りしてしまつのですが…

A

子どもが絵本を読んでも
らう楽しみは、おはなし
を楽しむだけでなく、読んで
くれるお母さんやお父さんと
一緒にいること、自分のため
に読んでくれる声を聞くこと
です。動き回って関心をなく
しているように見えても、ちゃ
んと耳は聞いてくれています。
なにがなんでも最後まで聞か
せなければ！とがんばらない
で、リラックサして読み手も
その時間を楽しんでください。